



テロ対策ネットワーク岐阜通信

No. 9 令和元年 10 月

■ 国内各地で凶悪な事件が発生

本年7月、京都市内で、男が会社放火し、36人が犠牲となる事件が発生しました。

今年に入って、

1月 東京 竹下通り車両暴走事件

5月 神奈川 川崎殺傷事件

をはじめ、各地で無差別殺傷事件が発生しており、私たちの身近でもこのような凶悪事件が起きるおそれがあります。



■ 皆様からの通報により、凶悪事件が早期に解決

9月25日深夜、岐阜県内でコンビニ強盗未遂事件が発生しました。

警察が情報提供を呼び掛けたところ、近くの宿泊施設に、

「犯人の格好や服装が似た男が宿泊している」

と通報があり、早期に逮捕することができました。



■ 不審者・不審物を見かけた時は110番通報を

このように、岐阜県でも凶悪な事件が発生し、犯人が付近に潜伏するおそれがあります。

皆様の身の回りで、『あれ？おかしいな？』と不審に思うことがあれば、警察にご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

110

番



■ 大型イベント開催に伴うサイバー攻撃の脅威について

現在、ラグビーワールドカップ2019日本大会が行われ、大変な盛り上がりを見せています。

来年の東京オリンピック・パラリンピックも、大きな注目を集める一方で、大会に便乗したサイバー攻撃が発生するおそれがあります。

過去のオリンピックでも、サイバー攻撃により

2016年 リオ五輪 政府ウェブサイトが一時閲覧不能になる

2018年 平昌五輪 チケットが印刷できない

等の被害が発生しています。



■ サイバー攻撃の手口と対策について

サイバー攻撃の主な手口

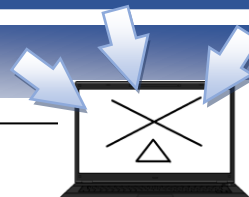
① 「標的型メール攻撃」

取引先や業務に関係のあるメールを装い、マルウェア（不正プログラム）を添付したメールを送信し受信者のコンピュータを不正プログラムに感染させる



② 「DDoS 攻撃」

相手のサーバに大量のデータを送り付け、負荷をかけるなどして、そのコンピュータによるサービスの提供を不可能にする



さらに、①でマルウェアに感染したパソコンが、②の「DDoS 攻撃」に悪用されるなど、攻撃の踏み台にされるおそれがあります。

被害にあわないためには【対策】

- システムを最新に保つ。セキュリティソフトの導入。
- 疑わしいメールを受信した際は、送信者に電話でメールを送信したか確認を取るなどして、添付ファイルを安易に開かない。



過去の通信は、↓のアドレスでご確認いただけます。

<http://pref.gifu.lg.jp/police/kurashi-anzen/saigai-terro/teroboshi/ctng.html>